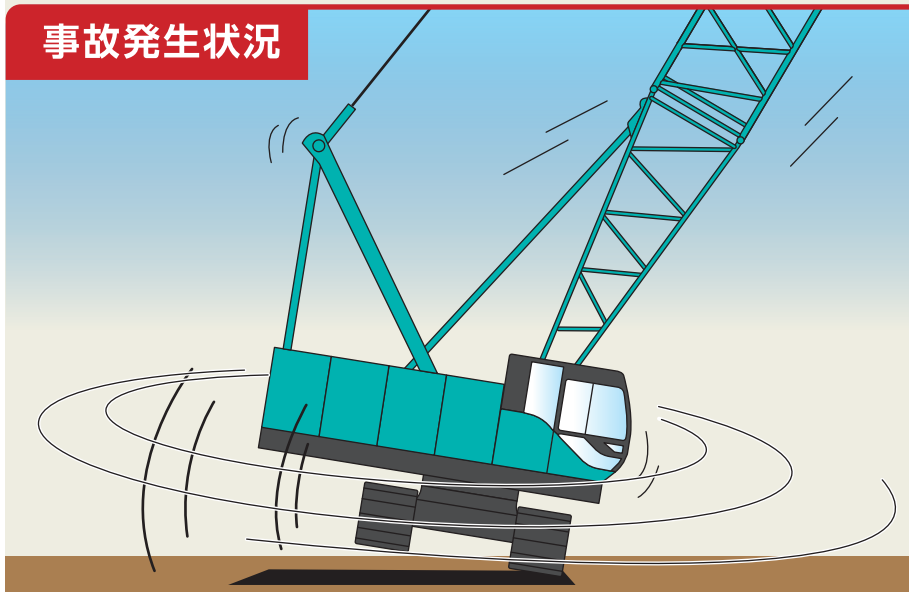


事故事例

# クレーン分解中に旋回して転倒

## 事故発生状況



## 原因

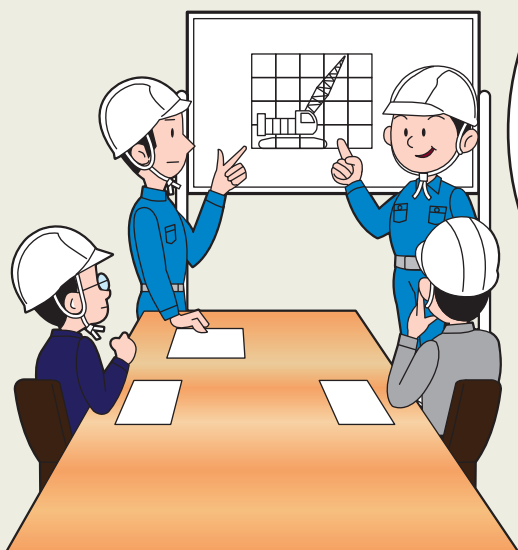
- 機械分解前に手順について、打ち合わせを行っていなかった
- 安定度表を参考に分解作業を実施していなかった。

機械分解中、下記条件にて旋回したところ転倒した。

- カウンタウエイトを取り外し
- クローラを全縮小 ・27mブーム付き

## 対策

作業を安全に進めるための計画を立て、関係者へも十分説明してください。



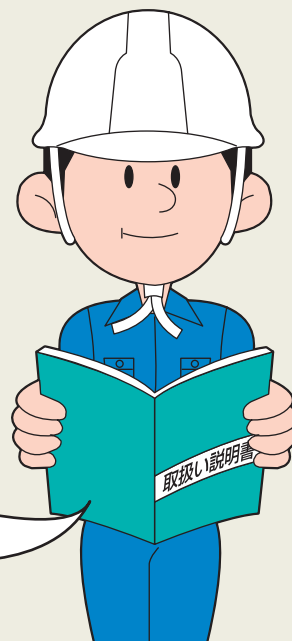
【1.資料編】

### 1.1.8 旋回・走行の安定性

アタッチメント	カウンタウエイト (t)	全周旋回		坂道
		クローラ拡張時	クローラ縮小時	前向
本体のみ	0	○	○	○
	7.1 (No.1のみ)	○	×	△傾斜角 10°以下
	15.2 (No.1+No.2)	△ (急操作禁止)	×	×
下部ブーム付 (ブーム角 10°以下)	0	○	○	○
	7.5 (No.1のみ)	○	△ (急操作禁止)	△傾斜角 15°以下
	15.2 (No.1+No.2)	○	×	×
9.1 m 基本ブーム付 (ブーム角 30°以下)	0	○	○	○
	7.5 (No.1のみ)	○	○	○
	15.2 (No.1+No.2)	○	×	△傾斜角 7°以下

1. 上表は堅土上での値を示します。軟弱地では地盤の養生をして、注意して作業してください。

上での旋回は、原則として行なわないでください。



クレーンの組立・分解時には取説に記載のある『安定度表』を参照し、安全に作業を行いましょう。